

会 議 報 告

区 分	内 容
会 議 名	令和6年度前橋市社会福祉審議会 第1回児童福祉専門分科会
日 時	令和6年5月31日（金）14：35～15：15
場 所	前橋市総合福祉会館 第5会議室
出 席 者	<p>【委員】 田村委員、香山委員、内田委員、鳥島委員、塚本委員、木暮委員、都丸委員、横澤委員、田中委員、森委員、石川委員、守山委員</p> <p>【事務局】 猪俣こども未来部長 こども施設課：岡田参事、一木補佐、高橋補佐、荒井補佐 こども支援課：望月課長、佐藤副参事、内田副参事、小暮副参事 幼児教育センター：池田所長</p>
傍 聴 者	なし
議 題 等	<p>○議題 （1）専門分科会長の選出について （2）職務代理者の指名について</p> <p>○その他 （1）児童福祉専門分科会の概要について （2）第三期前橋市子ども・子育て支援事業計画の作成に向けた検討の進め方について （3）前橋市こども基本条例の制定及び前橋市こども計画の策定に向けた検討の進め方について （4）こども家庭センターの設置について</p>
結 果	<p>○分科会長として森委員が選出され、また、職務代理者として田中委員が指名された。いずれも出席委員により承認となった。</p> <p>○その他各事業概要の説明を行い、了承いただいた。（時間の都合上、質問などがある場合は事務局あてメールなどでの問い合わせも可とした。）</p>

<p>内 容</p>	<p>委員改選による初回会議のため、開会前に委員による自己紹介、事務局職員自己紹介を行った。</p> <p>1 開会（こども支援課長）</p> <p>2 議題（こども支援課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員改選のため、分科会長が選出されるまでこども支援課長による議事進行を行った。</li> </ul> <p>（1）専門分科会長の選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門分科会長の選出について、立候補者や推薦者は無く事務局案として森委員を推薦、全出席委員の承認により決定した。</li> </ul> <p>（2）職務代理者の指名について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森委員から分科会長就任の挨拶を行い、この先の議事進行を交代した。</li> <li>・ 森分科会長より田中委員が職務代理者として指名され、全出席委員の承認により決定した。</li> </ul> <p>3 その他</p> <p>（1）児童福祉専門分科会の概要について（こども支援課：小暮副参事）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置目的、所掌事務、任期等の説明。</li> </ul> <p>（2）第三期前橋市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた検討の進め方について（こども施設課：一木補佐）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども・子育て支援事業計画の概要説明。 5か年を一期として策定する計画であり、第二期計画が令和6年度までとなっているため、続く第三期計画を今年度中に策定する。</li> <li>・ スケジュールとしては、9月までに保育ニーズ調査の実施と取りまとめ、年内までに素案作成、パブリックコメントを実施し3月までに計画書を作成する。適期に審議会を開催し意見を伺いながら進めていく。</li> </ul> <p>（3）前橋市こども基本条例の制定及び前橋市こども計画の策定に向けた検討の進め方について（こども支援課：佐藤副参事）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市では、今年度からこども基本条例制定やこども計画策定に向けて取り組んでいくこととなった。</li> <li>・ 策定に向け検討を進めていくにあたり3つの会議を中心に進めていく。その一つである「こどものまち前橋有識者会議」では、本審議会委員に教育関係者、弁護士を加え設置し審議を行っていく。</li> <li>・ 令和8年4月施行を目指し、令和6年度から7年度で検討を行っていく</li> </ul>
------------	--

	<p>ため、期間中は数回の会議を予定している。原則として子ども・子育て会議と併せ開催したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童福祉専門分科会委員の皆様には、こどものまち前橋有識者会議委員としても改めて委嘱させていただきご協力をお願いしたいと考えている。</li> </ul> <p>(4) 前橋市こども家庭センターの設置について (こども支援課：内田副参事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童福祉法の改正を受け令和6年4月1日付で、子育て世代包括支援センター (母子保健) とこども家庭総合支援拠点 (児童福祉) を統合し、前橋市こども家庭センター (保健センター2階) を設置した。</li> <li>・ これまでの各事業の意義や機能は維持し、妊産婦、子育て世帯、こどもに対し母子保健、児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行うことや、多様な家庭環境等に関する支援体制を充実、強化する。</li> </ul>
<p>主な意見、質疑</p>	<p>(守山委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども・子育て会議での「こども」とはどの年齢を指すのか。この審議会に教育委員会関係者に入っていないだろうか。</li> </ul> <p>(幼児教育センター所長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会関係として、幼児教育センター所長が出席している。幼児教育センター事業では未就学児が対象となっているが、小学校との連携という役割も担っている。</li> </ul> <p>(こども未来部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広い意味で「こども」と捉えており未就学児というだけでなく、広く前橋のこどもを育てていくという視点でお考えいただきたい。</li> </ul> <p>(守山委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども子育て支援事業計画について、こどもを増やしていくために計画を策定するのか、子育てをしやすい社会をつくるために計画を策定するのかを明確にしたほうが良いのではないかと思う。保育施設にこどもを預けたまま仕事ばかりしている親のもとで育ったこどもたちは、将来大人になって自分たちで子どもを産んで育てたいと思ってくれるのか疑問を感じる。こどもは愛されて育つべきだと思う。</li> </ul> <p>(森分科会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この計画は、こどもを増やしていくためと子育てをしやすい社会にするためと基本的には両方の意味があるものである。両方がいい形となった時に初めてこどもがいい形で育つということである。</li> </ul> <p>私達がこれから検討しなければならないのは、前橋市で育つこどもたちの施策を審議検討していくことである。</p> <p>いろいろな地域差、環境差はあると思うが保護者支援も大切であるし、</p>

前橋で生まれ育つ子どもたちの支援も、子ども・子育て支援事業計画に十分に入っていると考える。子どもであったり親であったり仕事をしていたりしていなかったり様々な人たち、多様性をひとりの人間としてきちんと受け入れられるものを作りたいと考える。私達の後に続くであろう世代に良い前橋を引き継いで行かないといけない。

人の育ちの基本は環境によって育てられるからこそ、子ども・子育て支援事業計画や子ども基本条例の制定、子ども計画の策定は、今あるべき姿であると思い、事前に資料を読ませていただいたときに大変嬉しく感じた。その先、良い形で保護者に伝わるよう伝え方も検討をお願いしたい。そして皆さんの力を結集していい流れを作っていきたいと思う。

今日は時間の関係もあり皆さんの意見も十分に伺えなかったのでご意見などがあれば事務局にメールを送っていただくなどしていただき、次回共有しながらもっと他の委員さんの意見も聞いていきたいと思う。

(田中職務代理者)

- ・今後、子どもたちのために様々な施策を審議検討していくことになるが、子どもを取り巻く周囲の方々のご意見も考えながら進めていけたらと思う。

4 閉会 (子ども支援課長)